



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

平成27年度 初任者研修 課題等研修VI【小学校】

「複式学級における授業づくりについて」

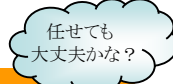
平成27年11月20日（金）

公開授業及び講演

講師：高知大学教育学部附属小学校 田中 元康 教諭

複式学級における「わたり」のポイント

直接指導から間接指導への「わたり」



直接指導

授業者が児童に対して、学習内容を直接指導する時間

- ・ 課題をつかむ場
- ・ 児童の考えをゆさぶる場
- ・ 基本事項の指導を徹底する場
- ・ 児童の学びを把握する場

- * 終わったらどうするか
- * 困ったらどうするか
- * 教室以外で活動してよいか
- * 何にまとめるか
- * 一人で考えるのか、共同で考えるのか等

上の内容を児童に指導してから間接指導へ

間接指導

児童が教師の直接的な指導によらず、学習を行う時間
練習の場であり、一人ひとりが自ら学び考える力を育む時間

- ・ 課題を自力解決する場
- ・ 児童同士の考えを吟味しあう場
- ・ 学んだことをまとめ、練習する場

間接指導から直接指導への「わたり」



- * 自力解決した内容を修正・焦点化するとき
- * 自力解決した内容以外の考えに出会わせるとき
- * 自力解決した内容を深化・発展させるとき
- * 自力解決の行き詰まりやつまずきへの支援を行うとき



通常の学級でも生かせる思考を深める授業 教師の働きかけ／児童主体パターン

課題を把握させる

整える：表出できるようにする
活動のねらいをもたせる
解決の見通しをもたせる
共通の土台にのせる

個の表現から見取る

ととの調える：表現を共有させる

ゴール：本時の目標

共有とは、何がよくて、何がよくないかを児童が互いに分かり合うこと。

教師は何がよいかを児童に明確に見えるように働きかける。

個の表現から教師が、ゴールに近付くことができそうで、手がかりとなりそうな児童の表現を評価したり価値付けたりする。その後、一人ひとりが表現できる機会をもつ。

授業で身に付けさせたい力を児童の具体的な姿として明確にもち、実態に応じて学習展開を行う。

【受講者の感想】

- ・ 特に「思考」についてのお話が心に響いた。比べるものがあるから思考することができるということを学んだので、今後は友だちの意見を交流するなど意図的に「比べる」機会を設けて思考を促していきたい。

【講 義】「NIEを通した言語活動の充実について」

初月小学校 北村 有紀 教諭

- **学ぶ意欲を引き出す**
 - ・ 子どもの知的好奇心を引き出す手立ての一つとして、身近で速報的な話題が掲載されている新聞を活用する
 - ・ 授業のなかで新聞を活用し、子どもが「～してみたい」と思えるよう知的好奇心に火をつける
- **協働的に学ぶ**
 - ・ 子どもが自分で話したい、聞きたいと思える環境をつくる（友だちへの伝え方・聞き方の技術の習得）
 - ・ お気に入りの記事を選んだ理由を、交流することを通して伝える力を育成する
- **学びを広げる**
 - ・ 新聞の活用から読書活動へつなげる
 - ・ 新聞を活用した授業を繰り返し行うことで子どものモノの見方、感じ方、考え方を広げる
 - ・ 新聞記事について家庭で共通の話題にする

川口 加代子 NIEアドバイザー
（元 江ノ口小学校指導教諭）

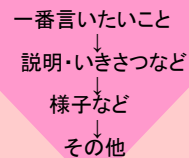
- **新聞活用の実践紹介**
 - 新聞に親しむ・新聞に学ぶ・新聞で発信する-
 - ・ 新聞に毎日載る記事の利用
 - ・ 新聞スクラップ
気に入った記事を継続してスクラップする
 - ・ 新聞の読み比べ
大きな事件が起こった日の新聞各紙を比べる
 - ・ ご当地の新聞を集める
地域性を知ることにつながる
 - ・ はがき新聞
100字ほどの記事で作る、はがきサイズのミニ新聞。手軽に取り組むことができ、「目的に応じて書く力」が身に付く



子どもにどんな力を付けたいかを明確にした学習
～「なぜ？」「どうして？」を大切に！～

- **なぜ「新聞」なのでしょう ～活用のポイント～**
 - ・ 21世紀型学力（活用型学力）の育成
 - ・ 子どもたちの学習意欲を高める
 - ・ 書く力と伝える力
 - ・ 課題解決能力
 - ・ アクティブ・ラーニング
 - ・ 系統的な学びと探求型グループ学習
 - ・ 主権者教育
 - ・ 読む力と読み取る力
 - ・ 自ら考え、判断する力
 - ・ 批判的思考力
 - ・ 自尊感情と他者意識の育成
 - ・ 地域や保護者を巻き込んだ学習展開
- **新聞の活用例**
 - ・ ニュースを読み（読み比べ）、考え、社会のことを知る
 - ・ 記事を書き写す
 - ・ 記事（又は写真）から情報を読み取り、見出しを考える
 - ・ 記事を書く
 - ・ 新聞をつくる
- **新聞を分かりやすく書くための「逆三角形」**
 - ・ 大事なことから順に書く「逆三角形」スタイル
 - ・ 第1段落はリード（前文）として、記事のあらましや、「一番強く伝えたいこと」を書く

高知新聞NIE
<http://www.kochinews.co.jp/nie/>
新聞づくりなど各種シートのダウンロードができます



高知新聞社 地域読者局NIE推進部長 岡林 直裕 氏

【受講者の感想】

- ・ 授業のなかで、1時間の話し合い活動が活発になされていたことに驚いた。話題に沿って話し合うためにも、友だちの話を聞く時や自分の意見を話す時のルールを徹底することの大切さを実感した。
- ・ これからたくさんの情報の中から取捨選択しながら、必要な情報を選び取って生きていく必要がある子どもたちにとって、新聞のなかから興味のある記事を選び、それに対して自分の考えをもつ学習はとても有効であることを知った。



「学習指導要領に沿って 新聞活用の工夫提案 NIEガイドブック(小学校編・中学校編)」社団法人 日本新聞協会 発行

高知市教育研究所
3階資料室にあります。